

岐 阜 県 の 魅 力 発 信 ・ 向 上 対 策 特 別 委 員 会 記 録

1 会議の日時	<p>令和 7年 7月9日</p> <p>開 会 午前 9時 58分</p> <p>閉 会 午前 11時 45分</p>	
2 会議の場所	第6委員会室	
3 出席者	委 員	<p>委員長 岩井 豊太郎 副委員長 水野 正敏</p> <p>森 正弘 水野 吉近 国枝 慎太郎</p> <p>酒向 薫 今井 政嘉 牧田 秀憲</p> <p>判治 康信 今井 瑠々</p>
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	課長補佐兼係長 水野 智裕 主査 脇若 知香子	

5 会議に付した案件		
件	名	審査の結果
1	観光、文化及びスポーツを通じた魅力発信について ・地域資源を活用した未来へ繋がる地域づくり (一社)下呂温泉観光協会 DMOの取り組み 【参考人】(一社)下呂温泉観光協会 会長 瀧 康洋 氏	
2	県外から人の流入を促進するための産業振興について ・サテライトオフィスの誘致 コネクトベース垂井について 【参考人】垂井町 副町長 藤塚 康孝 氏 産業課長 小竹 武志 氏 フィノーカル株式会社 代表取締役 内山 大志 氏	
3	その他	

6 議事録（要点筆記）

○岩井豊太郎委員長

ただいまから、「岐阜県の魅力発信・向上対策特別委員会」を開会する。

本日の委員会は、当委員会の今年度の調査項目としている「観光、文化及びスポーツを通じた魅力発信について」及び「県外から人の流入を促進するための産業振興について」をご協議いただくため開催した。

まず初めに、議題1、「地域資源を活用した未来へ繋がる地域づくり」について、参考人として、（一社）下呂温泉観光協会から、会長の瀧 康洋様にお越しいただいた。活発な意見交換をお願いします。

それでは、「（一社）下呂温泉観光協会 DMOの取り組み」のご報告をお願いします。

（瀧 参考人 報告）

○岩井豊太郎委員長

ただいまの報告に対して、質疑はないか。

○今井瑠々委員

下呂温泉へは中部地方の若者が多く来ていると感じている。SNSやインフルエンサーはどのように活用しているのか。

○瀧参考人

SNSについては業者に委託して発信している。

○今井瑠々委員

最終的には移住してもらうことが目標とのことだが、観光業に興味がある若者をどのように育成していくのか。

○瀧参考人

20代までに温泉地を訪れるとリピーター化するとのデータがあり、学生の目線で観光商品開発してもらったところ、若者の人気商品となった。また、大学の観光系学部の視察が多く、下呂市だけでなく、各地域で活躍する若者が増えたらと考えている。

○今井瑠々委員

ぜひ岐阜の宝として、下呂市のファンを増やしていただきたい。

○牧田秀憲委員

下呂温泉における宿泊プランの標準を、1泊朝食のみから1泊2食に戻すとなると、宿泊事業者の人材不足が懸念される。人材確保対策はどのように考えているか。

○瀧参考人

コロナ禍でも採用を続け、社員教育にも力を入れていたため、コロナ明けでも受入れ体制が整っており、すぐにフル稼働できた。若い世代はPR動画を見て採用に応募してくるため、下呂市全体で県の観光人材確保推進事業費補助金を活用しながら、動画による魅力発信をしていきたい。

○牧田秀憲委員

外国人材についてはどう考えているか。

○瀧参考人

非常に大切な人材と考えており、日本人と同様に研修制度を充実させることを重要視している。なお、派遣社員の場合は雇用期間が短いため、仕事を覚えても2、3ヶ月でいなくなる一方で、外国人材は2、3年は働いてもらえるため、教育する側としてもマネジメントしやすい。

○国枝慎太郎委員

車で観光に来る人が増えているデータがあるが、下呂への車でのアクセス状況についてはどう考えているか。

○瀧参考人

アクセスが良くなれば、遠くから来てもらえるメリットはあるが、現状のインフラに対応できるよう、地道にマーケティングをしていくことが重要である。今後は、リニア開業などの変化に応じて、セールスのやり方を変えていくことが大事。

○国枝慎太郎委員

団体客の誘客に力を入れていくとのことだが、ホテル側の働き方改革の影響で受入れ体制が整っていない場合があるが、どう考えているか。

○瀧参考人

団体客については温泉地での宴会を体験したい若い世代も増えている。宴会文化の回復は地域を守ることにつながる。現状の1泊朝食付きや素泊まりのプランで、客が増えたから良いというものではない。業務の生産性向上に取り組むことで受入れ体制は整えられる。

○岩井豊太郎委員長

質問も尽きたようなので、しばらく休憩する。

午前11時05分 休憩

午前11時10分 再開

○岩井豊太郎委員長

それでは、休憩前に引き続き、委員会を再開する。

次に議題2、「サテライトオフィスの誘致」について、参考人として、垂井町から、副町長 藤塚 康孝様と産業課長 小竹 武志様、また、垂井町から受託し事業の運営をされているフィノール株式会社から、代表取締役 内山 大志様にお越しいただいた。活発な意見交換をお願いします。

それでは、「コネクトベース垂井について」のご報告をお願いします。

(藤塚 康孝参考人、小竹 武志参考人、内山 大志参考人 報告)

○岩井豊太郎委員長

ただいまの報告に対して、質疑はないか。

○水野吉近委員

サテライトオフィスに入居されている3社の入居理由は何か。

○内山参考人

1社目の(株)Nocnum(名古屋市)は、浄化水槽管理システムを開発している企業で、実証に使用できるプール程度の水場を探していたところ、「コネクトベース垂井」には旧保育園のプールが残存しており、使用できるため入居された。2社目の(株)トゥモロズランチ(石川県)は、代表者が垂井町に縁のある方で、町と連携してドローンによる空撮や建物の3D化を実証していきたいとのことである。3社目の(株)Gifut(東京都)は、垂井町内でプロスポーツチームを運営している企業で、町と一層連携していきたいとのことである。

○水野吉近委員

垂井町への進出理由は、企業における事業経営戦略上の理由か。

○内山参考人

垂井町の誘致戦略に、事業経営戦略が合致した企業に入居いただいている。

○水野吉近委員

サテライトオフィスの空室1室について、問い合わせはあるか。

○小竹参考人

垂井町内の企業から入居希望があり、現在手続き中である。

○岩井豊太郎委員長

質問等も尽きたようなので、これで終了する。

以上で本日の委員会を閉会する。

岐阜県の魅力発信・向上対策特別委員会 配席図

令和7年7月9日

第6委員会室

